



第2次トランプ政権成立後 の今後の世界情勢について



日時:2025年1月22日(水)
会場:中央公民館 8・9号室

アジア研究会

第2次トランプ政権に伴うリスク

- ・ 経済的リスク 景気後退の懸念、インフレ圧力の増加
- ・ 外交的リスク 米中関係の悪化、国際的な孤立
- ・ 金融市場への影響
市場の不安定化、金融政策の不透明感
- ・ 政治的リスク 政権内の対立、民主主義の危機

(β版 Ask! Nikkei)

ユーラシアGが予測する10大リスク

- 1 深まるGゼロ世界の混迷
- 2 トランプの支配
- 3 米中決裂
- 4 トランプノミクス
- 5 ならず者国家のままのロシア
- 6 追い詰められたイラン
- 7 世界経済への負の押し付け
- 8 制御不能なAI
- 9 統治なき領域の拡大
- 10 米国とメキシコの対立

NIKKEI

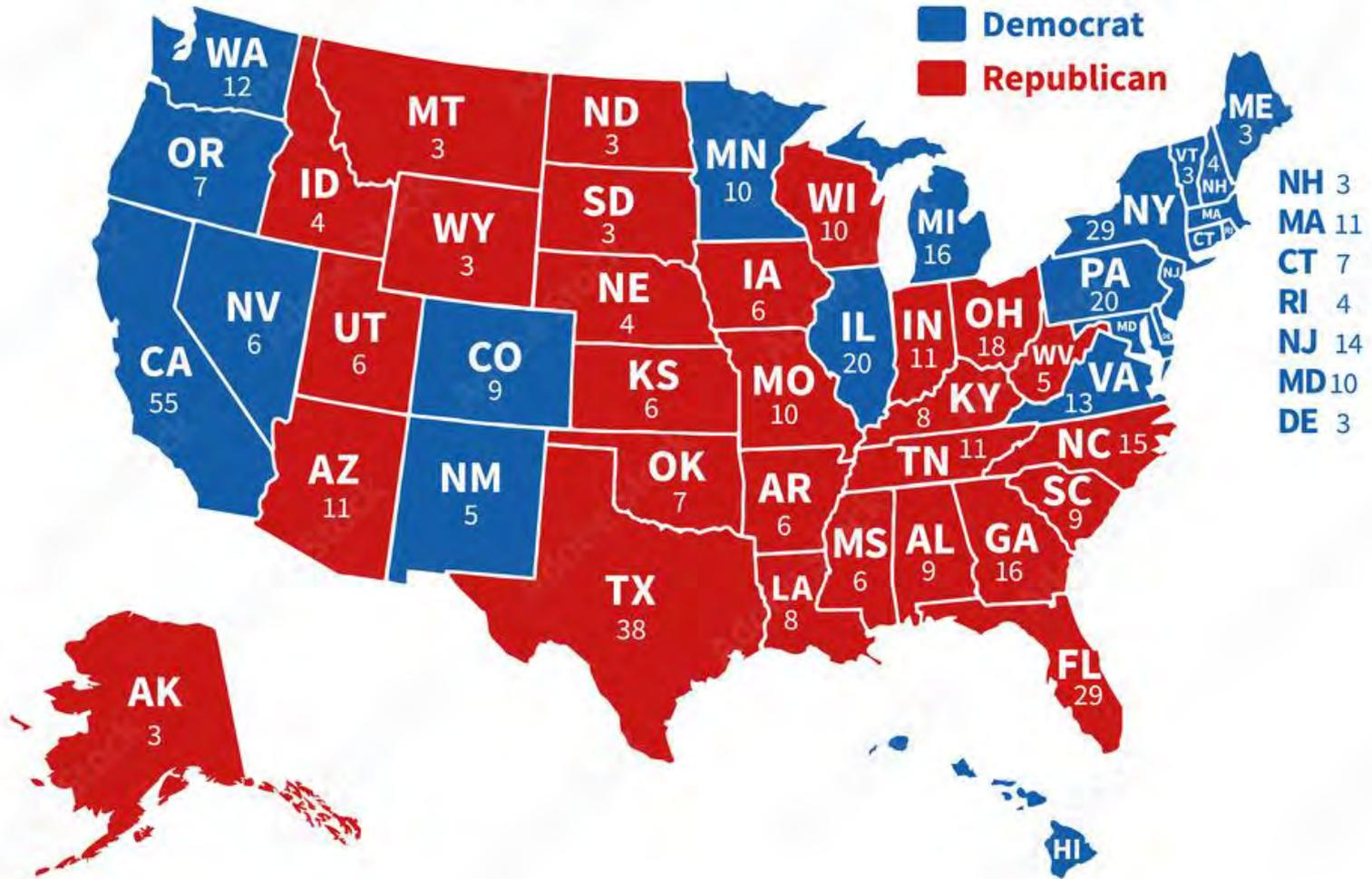
表 2024年の「世界の10大リスク」

1位	米国の敵は米国
2位	瀬戸際に立つ中東
3位	ウクライナ分割
4位	AIのガバナンス欠如
5位	ならず者国家の枢軸
6位	回復しない中国
7位	重要鉱物の争奪戦
8位	インフレによる経済的逆風
9位	エルニーニョ再来
10位	分断化進む米国でビジネス展開するリスク

(出所) ユーラシア・グループ

(日経250106 国際政治学者イアン・ブレマー／ユーラシアグループ)

USA MAP VOTING





グリーンランド



◆ **トランプ氏の
「領有」などを
巡る発言**



トランプ氏の「領有」などを巡る発言

(読売250112)

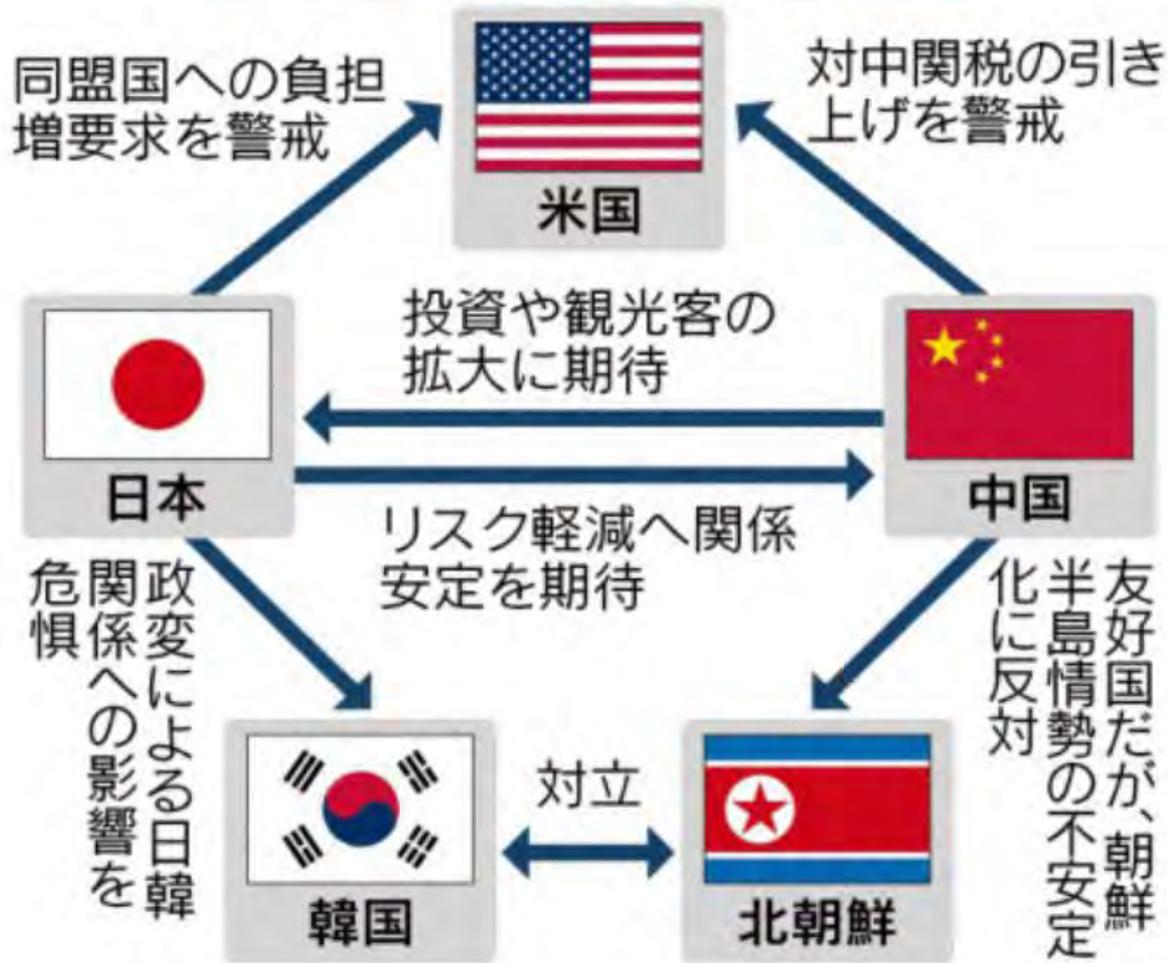
トランプ氏 最近の発言・大統領令

- ・グリーンランドをアメリカが購入希望
- ・パナマ運河の使用権を取り返す
- ・メキシコ湾をアメリカ湾の名称変更
- ・ウクライナ戦争を24時間で終結 →6ヶ月後に終結
- ・カナダをアメリカの第52州に
- ・中国産品の関税 60%に引上げ

- 不法移民対策 ハイチ移民、メキシコ移民
 ハイチ移民スプリングフィールド（犬、猫）を食してる？
- 恩赦：2021 議会占拠事件受刑者の恩赦
- パリ協定離脱
- LA山火事は 民主党ニューサム知事の責任
 小魚の保護？ 消火用水不足
- ノーベル平和賞を期待？
- TikTok禁止？ 許可？
- イスラエル・ガザ停戦 バイデンorトランプ？

トランプシフトと北東アジア諸国の相関図

トランプ次期政権が20日発足



トランプ2.0始動直後の大統領令

- トランプ高関税再び
- トランプ氏、不法移民排除へ
- パリ協定再び脱退へ
石油・ガス増産
- 米官僚の大量解雇視野
政治任用10倍で支配
- 議会占拠事件で恩赦公約
暴力正当化に懸念

就任年に署名した大統領令の数		
就任年	大統領	署名数
2021年	バイデン	77
17年	トランプ	55
09年	オバマ	40
01年	ブッシュ	54
1993年	クリントン	57
89年	ブッシュ (父)	31
81年	レーガン	50
77年	カーター	66
74年	フォード	29
69年	ニクソン	52
63年	ジョンソン	7
61年	ケネディ	70
53年	アイゼンハワー	80
45年	トルーマン	139

(出所) 米連邦政府官報

US Steel 問題

日本製鉄の 買収

クリーブランド・
クリフス社CEO

ゴンカルベス
(ブラジル出身)

「中国は悪
日本はもっと悪」

—世界の粗鋼生産ランキング(2022年)—

順位	社名	国名	粗鋼生産量 (万トン)
1	中国宝武鋼鉄集団	中国	13,284
2	アルセロール・ミタル	ルクセンブルク	6,889
3	鞍山鋼鉄集団	中国	5,565
4	日本製鉄	日本	4,437
5	江蘇沙鋼集団	中国	4,145
6	河鋼集団(HBS)	中国	4,100
7	POSCO	韓国	3,864
8	建龍集団	中国	3,656
9	首鋼集団	中国	3,382
10	タタ・スチール	インド	3,018
~~~~~			
16	ニューコア	アメリカ	2,060
22	クリーブランド・クリフス	アメリカ	1,680
27	USスチール	アメリカ	1,449

## 第2次トランプ政権の主な顔ぶれ(敬称略)

外交・安保

**マルコ・ルビオ(53) 上院議員** (役職) **國務長官**



Getty共同

**政策** バイデン政権の政策  
**米利益を最優先し米国を強く** NATOや日韓豪など同盟国と協力

(主な経歴)  
トランプと敵対後に関係修復、フロリダ州出身

**ビート・ヘグセス(44) 元テレビ司会者** **国防長官**



AP

**「力による平和」を実現** 同盟国の能力統合で中口など抑止

米FOXニュースの番組を通じて親交を深めた

**マイク・ウォルツ(50) 下院議員** **大統領補佐官(国家安保担当)**



AP

**中国の侵攻抑止へ台湾支援急ぐ** ウクライナへの軍事支援を優先

安保関連の経歴でトランプが一目。フロリダ州出身

**クリスティ・ノーム(53) サウスダコタ州知事** **国土安全保障長官**



ロイター

**不法移民を強制送還** 寛容な移民政策で受け入れ拡大

トランプの支持で18年知事選で初当選

**スコット・ベッセント(62) 投資家** **財務長官**



ロイター

**歳出削減で財政改善** 富裕層・大企業増税で財源捻出

トランプの演説に使うデータ提供。多額献金も

**ハワード・ラトニック(63) 実業家** **商務長官**



ロイター

**高関税で製造業の国内回帰** 対中ハイテク輸出規制を強化

「政権移行チーム」の共同委員長

**クリス・ライト(60) 石油探掘会社創設者** **エネルギー長官**



ロイター

**化石燃料の開発拡大** 再生可能エネルギーの利用促進

エネルギー事業立ち上げをトランプが評価

経済

(日経250121)

トランプ新政権の主な顔ぶれ  
※写真はロイター



**マルコ・ルビオ** 国務長官  
ヒスパニック系初。対中強硬派で、上院外交委員会などを経験した実力派



**ピート・ヘグセス** 国防長官  
保守系FOXニュースの司会者。リベラルと目される軍幹部の解任を主張



**スコット・ベッセント** 財務長官  
投資会社の最高経営責任者(CEO)。大統領選で陣営の資金調達を担う



**ロバート・ケネディ・ジュニア** 厚生長官  
ジョン・F・ケネディ元大統領のおい。ワクチンの安全性や効果に批判的



**バム・ボンディ** 司法長官  
元フロリダ州司法長官。2020年大統領選を「不正選挙」と主張



**イーロン・マスク**  
「政府効率化省」トップ  
電気自動車(EV)大手テスラのCEO。政府の歳出削減や規制緩和を推進



**マイク・ウォルツ**  
国家安全保障担当大統領補佐官  
陸軍出身。対中強硬派で、外交・安全保障政策の司令塔に



**カシュ・パテル**  
連邦捜査局(FBI)長官  
第1次トランプ政権で国防総省高官を経験。FBI解体を主張



**トゥルシー・ギャバード** 国家情報長官  
元下院議員。ロシア寄りで、同盟国・日本の防衛力強化を警戒する発言も

### 大統領の自己愛は「もろ刃の剣」に

#### ▶プラス面

- ▶ 人々を説得する力
- ▶ 危機管理の能力
- ▶ 一般投票の得票率

#### ▶マイナス面

- ▶ 倫理に反する行動
- ▶ 議会による弾劾決議と関連

#### ▶その他の傾向

- ▶ 大統領は一般国民より自己愛が強い
- ▶ 時代とともに自己愛の強い大統領が増加
- ▶ 外向性と自己愛は連動



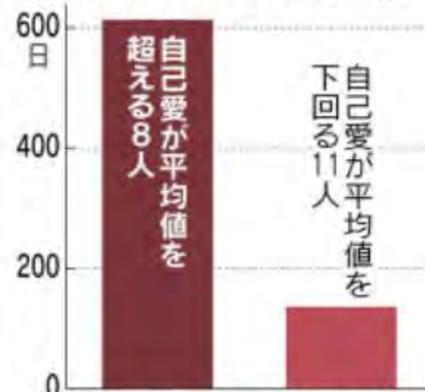
(注) 第43代ブッシュ氏までの米大統領をエモリー大のアシュレー・ワッツ氏らが分析

### 歴代米大統領の「自己愛の強さ」順位

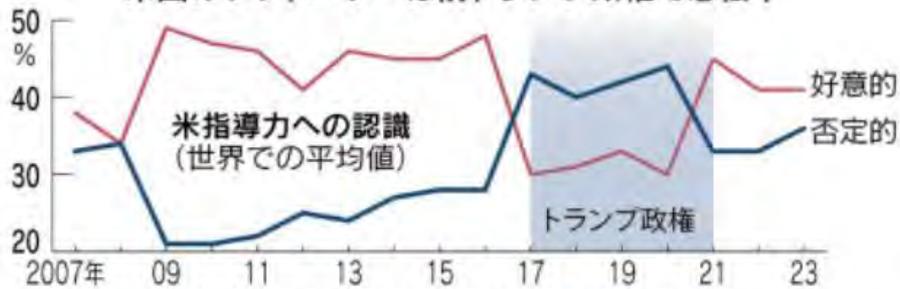
1	ジョンソン(36代)
2	セオドア・ルーズベルト(26代)
3	ニクソン(37代)
4	フランクリン・ルーズベルト(32代)
5	クリントン(42代)
6	ケネディ(35代)
7	ウィルソン(28代)
8	ブッシュ(43代)

(注) オハイオ州立大(当時)のジョン・ハーデン氏ら分析。対象は1897年就任の第25代マッキンリーから43代ブッシュまでの19人

### 自己愛の強い大統領は戦争好き？(任期中の平均戦争日数)



### 米国のソフトパワーは前トランプ政権で急低下



(注) 米ギャラップ社調べ、対象は世界の130カ国・地域

# ●トランプ新政権が直面する 主な外交課題 ※写真はロイター



米国の弱体化狙い関係強化

## ロシア

ウクライナ侵略  
終結



## イラン

核開発阻止



## 北朝鮮

核・ミサイル開発  
の阻止



## 中国

軍事・経済の戦略  
的競争。インド太  
平洋地域で同盟  
強化



対抗 新大統領 トランプ 圧力

軍事費増を要求  
北大西洋条約機構  
(NATO)加盟国

不法移民などの  
流入阻止を要求  
カナダ・メキシコ

## 中東

パレスチナ自治区ガザの和平実現

## トランプ氏の就任演説のポイント

米国の黄金時代はいま始まる。非常にシンプルに米国第一とする

刺激的な新時代の幕開けにいる。変化の波がこの国に押し寄せている

きょうからすべてが変わる。この瞬間から米国の衰退は終わる

スピード感を持って行動する。米国民にとって25年1月20日は解放の日だ

不法移民対策と化石燃料の採掘拡大へ国家緊急事態を宣言

すべての不法入国を停止、何百万人の犯罪外国人を送還。南部国境に軍派遣

全閣僚にインフレ対策、コスト減へ権限行使を指示

貿易システムを改革し、国民を潤すため外国に関税を課す。外国歳入庁を設ける

最強の軍隊を再構築。戦争終結、参戦しなかったことでも評価されるべき

中米のパナマ運河を取り戻す

米国は再び自国を成長する国家、すなわち、富を増やし、領土を拡大し(中略)新たな美しい地平線に米国の旗を掲げる国家だと考える

## 大統領令署名 (250120)

- ・パリ協定離脱
- ・WHO脱退
- ・メキシコ湾→アメリカ湾
- ・デナリ→マッキンリー
- ・性別は 男性 女性のみ
- ・TikTok禁止”75日間猶予
- ・国境警備強化 不法移民

(日経夕刊ほか250121)



MAKE AMERICA  
GREAT AGAIN

# 問題点まとめ

- ・ 今後の日米関係はどうか？  
ー 日本経済への影響は
- ・ トランプvs石破首相 交渉力に問題は？
- ・ 北朝鮮の拉致問題は解決するか？
- ・ ウクライナ戦争を6ヶ月で停戦できるか？
- ・ 中東情勢（イスラエル ガザ）停戦できるか？
- ・ 米中関係はどうか？